

ネコのわくわく自然教室

新型コロナウイルス感染症対策【まとめ版】

2020年4月11日策定・2022年03月7日改訂

新型コロナウイルス感染症の感染状況の推移を受け下記の対策をした上でプログラムを実施しています。参加の子ども、父母、関わるスタッフすべてに共通する「感染拡大予防」のためのガイドラインです。感染症専門医（沖縄県立中部病院感染症内科 高山義浩先生）のアドバイスを受け策定しています。

様々な対策を行っても感染リスクは排除できません。リスクをご理解の上でご参加下さい。

1. 参加条件（子ども・大人・送迎の保護者・スタッフ）

- ①参加本人が、参加当日を含めて**3日以内に風邪の症状**（37.5℃以上の発熱、咳、のどの痛み、倦怠感など）の体調不良がない。
- ②同居家族に、参加日も含めて**5日以内に風邪の症状**（発熱、咳、のどの痛み、倦怠感など）の体調不良の人がいない。ただし、風邪症状を認めているときに当該家族と参加本人がいずれも、PCR検査または抗原定性検査で陰性の場合は参加できます。 ※抗原定性検査とは薬局等で市販されている抗原検査キットのことです。
- ③参加本人が、**7日以内に新型コロナウイルス感染症への感染者と、症状を認めた日の2日前から隔離までの間に接触**していない。（接触：一緒に生活、遊ぶ、同じ車に乗る、同じく部屋にいた等）
※濃厚接触者と認定されていなくても、上記の懸念があるご自身で判断される場合はご遠慮ください。
- ④**7日以内に緊急事態宣言、まん延防止等重点措置**が出されている都道府県への渡航歴がある場合は、参加前のPCR検査もしくは抗原定性検査による陰性確認をしている。

補足事項

- ◆通っている保育園や学校が新型コロナによる「臨時休校」「学級閉鎖」となっている場合でも、上記に当てはまらなければ参加できます。
- ◆「濃厚接触者」となった場合は、その後7日間、体調に問題がなく過ごせた後に参加できます。
- ◆「感染者」となった場合は、必要な療養後、保健所より隔離解除が認められた後に参加できます。
- ◆海外へ渡航された場合は、国規定の健康観察期間が終了した後に参加できます。

2. 感染防止対策（個人）

①マスクの着用のルール

- ・野外で体を動かす活動時は、熱中症や窒息などのリスクを避けるため原則としてマスクは外す。
- ・室内、車内に入る場合は必ずマスクを着用する。
- ・野外でも調理など衛生的な対応が必要な活動で、マスク着用が規定されているときは必ず着用する。
- ・プログラムの集合、解散時には保護者の方にはマスクの着用をお願いする。
- ・体調が悪いなどマスクをしないといけない場合は、そもそも活動に参加しない。また帰宅をする。
- ・マスクを一時的に外す場合は、直接置いたり、ポケットに入れず、個別にビニール袋に入れて保管する。
- ・マスクは不織布の使い捨てを原則とし、衛生上の観点からマスクは24時間で新しいものに交換する。

②手洗い、消毒の徹底

- ・次のタイミングでは、衛生管理に則った方法での手洗い、水道が使えないときは手指の消毒をする。

集合時、施設への入室時、トイレの後、食事・調理の前、マスク着用時、症状がある人に触れたとき、解散時

- ・手洗いの際には、ハンカチを使わず、使い捨てのペーパータオルか、自然乾燥を行う。

③事前の体調管理と検温、体調確認

- ・参加時には1週間前からの体調確認をします。（指定用紙に記入の上、集合時に提出）
- ・日帰りでは1日1回（集合時）、宿泊では1日1回（朝）に検温と体調確認を全員に行う。

④感染予防エチケットを身につける（子ども達も身につける）

- ・咳やくしゃみをするときには、マスク、ティッシュ、上着の袖などで覆ってからする。手で覆うことはせず、手で受け止めた場合はすぐに手洗い、消毒を行う。
- ・咳などをしない場合でも、鼻や口、マスクをむやみに手で触らず、触った手で他者や共有物を触らない。

3. 感染防止対策（活動）

- ①日中の活動は「野外での活動」を基本として、就寝時間以外は、野外か風通しのよいテラスなどで行う。
- ②野外での遊びや活動時の互の距離感については制限を設けないが（手をつなぐなど）、上記の適切なタイミングでの手洗いを子ども達にも指導し必ず行うこととする。
- ③シュノーケルマスク、ライフジャケット、ビブスなどは使い回しせず、使用後は毎日洗浄を行う。
- ④バスでの移動時は換気を常に行い、マスクの着用を必ず行う。
- ⑤野外のフィールドに出る場合も「消毒液（手指用アルコール）」をスタッフが携帯する。

4. 感染防止対策（生活）

- ①室内、テントは2箇所以上の通気をして風通しのよい状態を確保。入室前には入浴か着がえを必ず行う。
- ②コップは設置せず、水分補給は自分の水筒からのみ行う。給水ジャグは1日1回洗浄と消毒を行う。
- ③感染リスクを下げるため食器洗い、水筒洗いは行わず、すべて使い捨ての食器やペットボトルを使用する。
- ④調理、配ぜんは、子どもが行う場合でもマスク、手袋、ハット、使い捨てエプロンを必ず使用し、別途規定のある料理時の適切な衛生管理を行う。大皿から取り分けることはせず、個別の皿で配ぜんをする。
- ⑤食事は室内で行わず、野外か風通しのよいテラスとし、出来るだけ対面での食事とならないようにする。

5. 感染防止対策（施設・室内）

- ①室内、テントは2箇所以上の窓や換気口を開け、サーキュレーターを使い風通しのよい状態を確保する。
- ②室内に入る場合には、毎回必ず手洗いと消毒を行い、室内では必ずマスクを着用する。
- ③大人数での活動を終えて室内に入る際には、必ず入浴と着がえを行い、感染の持ち込みを予防する。
- ④トイレはマスク、ビニール手袋、使い捨てエプロン等の適切な予防具を使用して1日1回清掃をする。
- ⑤ドアノブなどの室内の複数の人が触れる場所は、1日1回消毒をする。

6. その他

- ①沖縄県による新型コロナウイルスに関する「緊急事態宣言」が出されている間は、宿泊プログラム（キャンプ）は開催せず、野外活動の日帰りプログラムに限定して開催します。
- ②沖縄県、専門家によって「県内の地域間の感染予防」が必要と判断されている場合は、沖縄本島中部以外の山村部や離島への移動を自粛し、本団体の活動拠点である中城村を中心とした活動を行います。

本対策の内容は沖縄県内での感染状況の推移を見ながら、適時追加変更していきます。

感染症対策の全文はホームページに掲載しています。

この対策全文はネコのわくわく自然教室のホームページにも掲載しています。
最新の情報はWEBからご覧下さい。

スマホカメラで読み取り

